

「いつかに備えて、今できること」

～一般避難所開設訓練と福祉避難所開設訓練～



～協力して間仕切りを設置～



～さまざまな障がいのある人が福祉センターへ避難～

初めての経験が今後に生きる



11月21日(土)安城南中学校を会場に、大山町・百石町、城南町、赤松町の4町内会をモデル地区とした避難所開設訓練を実施しました。当日は195人が参加され避難所の環境や混乱する状況の一端を体験する貴重な機会となりました。

また、同時に総合福祉センターを会場に、要配慮者やボランティア団体などに参加いただき、安城市では初めての要配慮者が参加する福祉避難所開設訓練を実施しました。

※訓練の詳細は2、3ページをご覧ください。

特集 あんじょうのまちは愛いっぱい☆

'16 3/15 第84号

編集と発行／社会福祉法人 安城市社会福祉協議会

〒446-0046 安城市赤松町大北 78 番地 4 (社会福祉会館内)

TEL 0566(77)2941・FAX 0566(73)0437

E-mail syakyo@city.anjo.aichi.jp http://www.anjo-syakyo.or.jp/



要配慮者とは？

高齢者、障がいのある人、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する人のこと。

27年度 特集 防災

あんじょうの まちは 愛いっばい☆

安城では初！

福祉避難所開設訓練

安城市では、各町内の自主防災組織の活動を活性化するために「自主防災組織支援事業」を行っています。

この事業は、安城市危機管理課、災害救援の専門家である特定非常利活動法人レスキューストックヤード、安城市社協の3団体が協働し、町内会のみなさまと一緒に進めていきます。

今年度の避難所開設訓練は、「要配慮者（災害時要援護者）にも配慮した避難所環境を整える」をテーマとし、一般避難所に加えて福祉避難所開設訓練を初めて実施しました。



訓練に向けての学び

訓練の準備として

推進委員会(ワークショップ)を開催

各町内会から推進委員が選出され、発災時の安全確保や避難方法、避難所の開設、組織運営、レイアウト、開設訓練の内容などが検討されました。

また、福祉避難所のワークショップでは障がい種別のグループに分かれ意見を出し合いました。



訓練の準備として

防災講演会

障害者福祉施設の理事長として実際に被災された下郡山和子氏しもむらやまかずこに東日本大震災の際に障がいのある人と家族がどのような困難を抱え、また災害時の備えとして何が有効だったのかを体験談を交えて、講演していただきました。

地域と福祉施設の連携について学ぶとともに、地域の障がいのある人の把握と理解、交流の必要性を学びました。



発災から避難所までの動き

自分の安全確保から

発災時はまず自分の安全確保が最優先です。

そのため、町内会では発災時間に合わせ、机や椅子に隠れるなどの身を守る行動をとる訓練を行いました。その後、家の状況の確認や周辺の安全確認をして一時避難所へ避難しました。



要配慮者も一緒に避難

各町内会で安全確認を終えた後、公民館や公園などの一時避難地へ集合し、一般避難所（安城南中学校）へ避難しました。

避難する際には町内の視覚障がいのある人や聴覚障がいのある人、車いす使用者などの要配慮者の安全を確保しながら一緒に避難しました。



避難所開設訓練の様子

一般避難所の開設訓練

4町内会（大山町・百石町・城南町・赤松町）をモデル地区に安城南中学校で実施し、195人が訓練に参加しました。

今回は、実際の災害を想定し、発災後から全ての動きを始めました。

避難者は受付後、避難所（体育館）に入ります。当日は参加者の受付、避難者の誘導・移送に時間がかかったことや、要配慮者の受付方法など様々な課題が見つかりました。



避難者で協力して避難所を開設するためには、作業の優先順位の決定や指揮命令系統の早期の確立の重要性など、訓練をすることで初めてわかることが多くありました。

参加者の声

● 要配慮者への接し方の知識と本人の意向に沿う支援が大切だと感じた。

● 避難所開設のために何が必要か4町で考えるきっかけになった。これからも防災について考える機会をつくり、訓練の課題を検討し、災害に備えていきたい。

参加者の声

● 声のアナウンスのみで困った。文字による情報提供が必要。（聴覚障がいのある人）

● 必要なものは持参するなど自助努力も必要だと感じた。

● 薬などの入手方法が心配。

● 防災資材の量・内容、総合福祉センターの間取りや雰囲気があった。他の施設も知りたい。

福祉避難所の開設訓練

要配慮者が参加する福祉避難所訓練は初めての試みで、高齢、肢体不自由、視覚・聴覚・知的・発達・精神障がい、の各当事者、介護者、ボランティアなど106人の参加者と職員等の合計130人で総合福祉センターにて実施しました。



訓練では受付、部屋への誘導、パーテーション等を使用した区割り、簡易ベッドの設置、車いす対応トイレの設置、要配慮者への聞き取り、一般避難所からの避難者の受入れ、基幹避難所（公民館）への状況報告、物資の配給などを実施しました。

また、愛知医科大学災害医療研究センターの小澤和弘氏を講師に招き、停電時にも使える手動式人工呼吸器についての講演と体験訓練を実施しました。

成果報告会

2月21日（日）にはこれまでの成果報告を、参加された町内会や当事者に発表していただきました。また、名城大学都市情報学部教授の柄谷友香氏を招き、「自主防災組織による避難所運営の実態と課題〜東日本大震災・陸前高田の事例から〜」と題して講演していただきました。

参加者は訓練の報告と講演を通して改めて町内でのつながり作りや安全確保、要配慮者への避難支援や誘導、避難所開設訓練の必要性を実感しました。



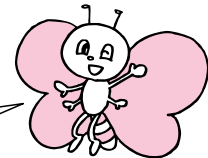
まとめ

発災した場合の混乱を想定し、両避難所での訓練を実施したため、さまざまな問題点が確認され、発災から避難所開設までの流れを検証することができました。

安城市社協としても今回の学びを活かし、町内会や各団体のみなさまと取り組みを継続していきます。

福祉避難所とは？

介護の必要な高齢者や障がいのある人など、一般の避難所では生活に支障をきたす人に対して、バリアフリー化が図られた避難所です。安城市では各福祉センターが指定されています。



ハートンからの
おしらせだよ!

平成28年度ボランティア登録受付中!

安城市社協ボランティアセンターはあなたの活動をサポートします。これからボランティアを始めたい人すでに活動をしている人はぜひご登録ください。

【登録ポイント】

- ① ボランティア保険への加入 (有料)
 - ② 福祉センターおよび社会福祉会館利用の支援
 - ③ 助成金の相談および案内
 - ④ 活動に関する相談および情報提供
 - ⑤ チラシ印刷用紙の提供
 - ⑥ 印刷機、裁断機等機器の利用提供
- など、団体や個人のボランティア活動を支援します。

【手続きに必要な書類】

- ① 申請用紙
- ※安城市社協ウェブサイトからもダウンロードできます。
(<http://www.anio-syakyo.or.jp>)
- ② 会員名簿
- ③ 平成27年度の活動実績又は活動内容のわかる資料
- ※窓口にて受付
- お問い合わせ▼

ボランティアセンター
(社会福祉会館内)
☎(77)2941

傾聴ボランティア養成講座

「傾聴」とは、耳を傾け、相手の心に寄り添って話を聴くことです。講座を通して自分のコミュニケーション方法を見つめ直し、傾聴ボランティアとして活動してみませんか。

日時▼5月13日(金)、27日(金)

午前10時～午後3時30分

場所▼社会福祉会館 会議室

内容▼①傾聴とは何か

- ②循環するコミュニケーション
- ③聞く姿勢
- ④傾聴ボランティアは何を求められているか

講師▼佐野 真紀氏

(愛知教育大学 准教授)

対象▼市内在住または在勤で傾聴ボランティア活動を始めたい人

定員▼20名(先着順)

参加費▼500円

受付▼3月19日(土)午前9時から

申込み・問い合わせ▼

ボランティアセンター

(社会福祉会館内)
☎(77)2941

手話講座

聴覚障がいのある人の生活や抱えている課題などを学ぶとともに、手話で日常会話ができることを目指します。

日時▼4月27日から平成29年2月22日

までの毎週水曜日(5月4日、11月23日、12月28日、1月4日を除く)全40回
午後7時～9時

場所▼総合福祉センター 会議室3

対象▼市内在住または在勤の18歳以上の人(高校生不可)

定員▼20名(先着順)

参加費▼3240円(テキスト代)

受付▼3月19日(土)午前9時から

申込み・問い合わせ▼

ボランティアセンター

(社会福祉会館内)
☎(77)2941

介護者のびと

	日時・場所・問い合わせ
介護者のつどい	4月14日(木) 午後1時30分～3時 中部福祉センター 教養娯楽室 ☎76-0090
介護者おしゃべりサロン	4月2日(土) 午後1時～4時 社会福祉会館 会議室 ☎77-2941

※介護者おしゃべりサロンは当事者による自主グループです。

車いす移送車サルビア号の貸出方法が変わります

4月から軽自動車(3人乗り)タイプのサルビア号の貸出方法が変わります。これまではガソリンを満タンに給油して返却いたしましたが、今後は走行距離に応じた利用料金(10キロあたり100円)を返却時にいただきます。なお、普通車タイプの10号と11号は、これまでと同じ満タン給油でお願いいたします。詳細は各福祉センターにお問い合わせください。

番号	定員	場所	電話番号
1号	3人	中部福祉センター	76-0090
2号	3人	安祥福祉センター	73-5757
3号	3人	南部公民館	92-3641
5号	3人	北部福祉センター	97-5000
6号	3人	西部福祉センター	72-6616
7号	3人	作野福祉センター	72-7570
8号	3人	桜井福祉センター	99-7365
10号	10人	総合福祉センター	77-7888
11号	6人	総合福祉センター	



赤松町の社会福祉会館2階にある中根文庫には、今年もたくさんの方の福祉に関する本やDVDが追加されるよ。貸出もできるので、みんな来てね!

